



NPO 法人 日本小児がん看護学会

Japanese Society of Pediatric Oncology Nursing
— JSPON —
News Letter Vol.28



今年の夏は、例年にない酷暑と台風、そして震災が続
き、全国各地で大きな被害を及ぼしました。被災された皆
様には、学会より心からお見舞い申し上げます。今年は国
際小児がん学会（SIOP）が日本で開催されます。世界各
地でも多発する自然災害で、小児がんの子どもたちの治
療が滞ることのないよう、私ども学会では世界の医療者
らと連携をとりながら、これからも活動していきます。

第 16 回日本小児がん看護学会学術集会のご案内

第 16 回日本小児がん看護学会学術集会を、第 60 回
日本小児血液・がん学会、第 23 回がんの子どもを守る
会とともに、京都ロームシアター/京都市勧業館みやこ
めっせにて、開催致します。

看護教育講演では、「小児の緩和ケアへの示唆 - 成人・
老人への緩和ケアを手がかりに -」をテーマとし、がん
看護専門看護師の先駆者であり、多くの終末期にあるが
ん患者様と関わられ、現在も精力的に活動をされている
京都大学大学院、田村恵子先生にご講演をいただきま
す。看護シンポジウムは「子どもらしさ家族らしさを支
えるとは - 子どもや家族の思いに寄り添いながら行う
意思決定支援を考えてみよう -」をテーマとし、看護師
だけではなく、心理士や CLS の方からも、実践のお話
をしていただきます。このシンポジウムでは参加者の方
と意思決定場面での体験を共有しながら、子どもらしさ
家族らしさを支える看護について、様々な形で意見交換
していきたいと考えております。

日本小児がん看護学会の各委員会からは、学術検討委
員会企画「日常的なケアに活かす看護研究のエビデンス

～中心静脈カテーテル管理について～」、教育委員会企
画「教育セミナー『抗がん剤の曝露対策』」、政策委員
会企画「教育委員会セミナー『小児がん看護師の認定制
度について - 制度の概要と受講の仕組み - 』」の 3 つの
プログラムが企画されております。

また、3 団体合同/CCI Educational Program Joint
公開パネルディスカッション（同時通訳あり）は、「Life
after Childhood Cancer Experience -Overcoming,
Coping and Planning-」をテーマとして開催されます。
演者は医師 Dr. Andrea Ferrari 先生、看護師 Dr. Louise
Soanes 先生、小児がん経験者 Patrick Yip 様の 3 名
で、医療者が提供するフォローアップではなく、小児が
んサバイバーが自ら考え、計画をたてていくこと、それ
をどう医療者が支えていくかについて、それぞれの立場
からお話して頂きます。

一般演題につきましては、口演 52 題、ポスター 2 題
（合計 54 題）の登録を頂きました。この場をお借りし
て、ご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。

今回の国内の学術集会は、同時期に SIOP2018 が京
都国際会館において開催されることもあり、例年と異な
り、少しコンパクトな形での開催となりますが、本学術
集会の期間中に、皆様方と活発な意見交換ができ、「子ど
もらしさ、家族らしさをささえる」看護について共有で
きることを願っております。また、国内学会終了後は、
SIOP2018 にも併せてご参加頂けますようお願い致し
ます。紅葉シーズンである 11 月の京都で、多くの皆様
のご参加をお待ち申し上げております。

第 16 回日本小児がん看護学会学術集会会長 堀妙子
（京都橘大学看護学部）

〔テーマ〕 「子どもらしさ家族らしさをささえる」

- 会 期：2018 年 11 月 14 日(水)～16 日(金) ▪ 会 場：ロームシアター京都/京都市勧業館みやこめっせ
- HP アドレス：<http://www.c-linkage.co.jp/jspho2018/>
- 参 加 費：当日受付のみ 看護師 10,000 円（3 学会共通、すべての会場に参加可能）
- 会員登録：日本小児がん看護学会ホームページ <http://jspon.sakura.ne.jp/admission/> 入会申し込み方法

〔プログラム〕

教育講演	「小児の緩和ケアへの示唆 -成人・老人への緩和ケアを手がかりに-」
看護シンポジウム	「子どもらしさ家族らしさを支えるとは -子どもや家族の思いに寄り添いながら行う意思決定支援を考えてみよう-」
学術検討委員会セミナー	「日常的なケアに活かす看護研究のエビデンス～中心静脈カテーテル管理について～」
政策委員会セミナー	「小児がん看護師の認定制度について-制度の概要と受講の仕組み-」
教育委員会セミナー	「抗がん剤の暴露対策」
3 団体合同/CCI Educational Program Joint	パネルディスカッション（同時通訳あり）
	「Life after Childhood Cancer Experience - Overcoming, Coping and Planning -」
小学館ノンフィクション対象受賞者講演	「重い障害を生きる子が教えてくれる未来の医療」
特別企画	「医療の構造改革 変わるの、今だっ！」

SIOP2018のお誘い

いよいよ第50回国際小児がん学会(SIOP2018)が11月16日より開催されます。日本の多くの臨床の方に学んでいただけるように、Educational day(内田先生の科研報告の箇所)、SIOP2018の看護セッション(認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト寄付の箇所)両方に同時通訳が入れられることになりました。

また、ノーベル賞を受賞された本庶佑先生によるKEY NOTEが19日(月)に、大隅良典先生によるKEY NOTEが17日(土)にあります。看護のプログラムは、下記の通りです。口演発表約60題と非常に多い演題数です。

Educational day(11/16)のみの参加(70\$)も可能です。17日(土)~19日(月)は、それぞれ1dayチケット(150\$)の購入もできます。1dayチケットには枚数制限や、日数制限はございません。国内学会に続いてになりますが、1日だけでも是非ご参加頂き、世界の小児がん看護を知る機会にさせていただけたら、と思います。

開催日: 11月16日(金) Educational day
17日(土)~19日(月) SIOP2018

開催場所: 京都国際会館

HP : <https://siop.kenes.com/2018>

(SIOP LOCメンバー 小川純子)

Educational (Nov.16 th)	SIOP2018 (Nov.17 th)	SIOP2018 (Nov.18 th)	SIOP2018 (Nov.19 th)
8:15 - 9:45 JOINT SESSION NURSES AND SUPPORTIVE CARE: SYMPTOM MANAGEMENT	9:40 - 11:10 NURSES: OPENING SESSION	8:30 - 9:30 NURSES: FREE PAPERS SESSION 3: ETHICAL CONSIDERATIONS AND WORK ENVIRONMENT	8:00 - 9:30 NURSES: FREE PAPERS SESSION 5: STAFFING AND CAREGIVER EDUCATION
10:15 - 11:45 NURSES: JOINT SESSION NURSES AND SUPPORTIVE CARE: EDUCATION OF SELF-CARE	11:20 - 11:50 NURSES: PRESENTATIONS MY CHILD MATTERS	10:40-12:00 NURSES: FREE PAPERS SESSION 4: COOPERATION BETWEEN CHILDREN/ PARENTS AND STAFF	10:40 - 12:10 NURSES: FREE PAPERS SESSION 6: IMPROVEMENT IN CARE DELIVERY I
13:45 - 15:15 JOINT SESSION NURSES AND CCI: DECISION-MAKING DURING END-OF-LIFE CARE	13:30 - 15:30 NURSES: FREE PAPERS SESSION 1: SYMPTOM MANAGEMENT	14:00 - 15:30 CCI AND SIOP NURSING JOINT SESSION	15:00 - 16:00 NURSES: FREE PAPERS SESSION 7: IMPROVEMENT IN CARE DELIVERY II
15:45 - 17:15 MAIN HALL JOINT SESSION EDUCATIONAL, NURSES AND CCI: ASIAN INTERCONNECTION OF PEDIATRIC CANCER SURVIVORSHIP	16:00 - 16:40 NURSES: POSTER DISCUSSION SESSION 1	17:00 - 17:45 NURSES: POSTER DISCUSSION SESSION 2	
	16:40 - 18:10 NURSES: FREE PAPERS SESSION 2: HEALTH ISSUES FOR AYA'S AND PEDIATRIC CANCERS SURVIVORS	17:45 - 19:30 POSTER VIEWING	
	18:10 - 20:00 POSTER VIEWING		

<日本小児がん看護学会認定「小児がん看護師」資格制度が始まります！>

2018年3月、第3期がん対策推進基本計画が閣議決定されました。それを受けて「小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会」が開催され、7月31日「小児がん拠点病院等の指定要件の見直しに関する報告書」が発表されました。そこには『新小児がん拠点の指定要件』として「看護師は、小児がん看護に関する知識や技能を習得していることが望ましい」と明記されています。本学会では、社会の流れと医療現場のニーズを鑑み、学会認定「小児がん看護師」資格制度を2019年度より開始いたします。現在、皆様のご期待に副うべく教材、受講システムを調整中です(詳細は適宜ホームページに掲載いたします)。

第16回日本小児がん看護学会学術集会2日目の**11月15日(木) 9:40~10:40**では、政策委員会のセミナーで「小児がん看護師の認定制度について一制度の概要と受講の仕組み」と題して詳細を解説いたします。ご興味のある方は、是非ご参加ください。

(政策委員会 井上玲子)



「第 15 回小児がん看護研修会」開催のご報告

今年も暑い夏の週末 8 月 25 日に、国立成育医療研究センターの会場をお借りして、研修会を行いました。

今年は「小児がん患者の在宅移行～その子らしさ、家族らしさを支えるために～」をテーマとして、特に終末期の小児がんのこどもがお家で過ごしたい時に、看護師としてできることは何か、意思決定支援やその際に大切にしたいコミュニケーションについて考えていきました。事前申込 50 名を含む計 59 名の参加があり、参加者は午前には各先生方の講義の他、体験したご家族からの生の声に熱心に耳を傾ける様子や、午後のグループワークにも積極的に参加をしている姿が見受けられました。アンケート結果からも、参加者の満足の高さがうかがえました。以下は参加者から頂いた感想です。

~~~~~

今回のテーマである「小児がん患者の在宅移行」は、入退院支援が進む情勢にふさわしく、自施設でも課題としていところであり、楽しみに参加させていただきました。

研修は 2 部構成で、第 1 部は講演でした。医師や看護師、訪問看護師の立場から、在宅緩和ケアシステムづくりの過程について学びました。特に苦労された部分やその後のパラダイムシフトは印象的で、病院と地域とが歩み寄り、擦り合わせをしながらシステムをつくりあげる上で、自施設や自県の状況に落とし込んでイメージしやすい内容でした。これからの課題解決に向けたヒントをたくさん得ることができました。

第 2 部のグループワークでは、臨床の現場や教育の現場、大学院生など、さまざまな立場の方々とともに、2つのワークに取り組みました。一つは、小児がんのこどもの在宅移行に向けて必要な調整について、事例を基に討議をしました。もう一つは、家族の意思決定支援の際のコミュニケーションについてロールプレイを取り入れて討議をしました。各グループにはファシリテーターがついてくださり、安心して、また楽しく討議ができました。時間をかけて改めて患者さんやご家族の思いに立ち返ることができましたし、他施設の現状を知ったり、困っていることを共有したりと、明日からの実践に活きる学びが多くありました。

(岩手医科大学附属病院 伊藤由香)

### CNS のまめ知識

## ＜小児・AYA世代のがん医療・支援について＞

国のがん対策では、これまでがんの罹患率の高い壮年・高齢期の世代を中心に対策がされてきました。その後、第 3 期がん対策推進基本計画（2018 年 3 月）において、小児がんや AYA 世代のがん対策について明記されたことをきっかけに、AYA 世代にスポットが当たり、注目されるようになりました。

AYA とは、Adolescent and Young Adult の頭文字で、“思春期・若年成人期”の世代を意味します。AYA 世代に含まれる年代の定義は、国や研究機関によって様々ですが、わが国では政策を考えるうえで、15 歳から 39 歳までの年齢層を指すことが多くなっています。AYA 世代がこれまでがん対策の中で取り残されてきた背景として、AYA 世代のがんの罹患数が非常に少ないことがあげられます。

さらに、小児と成人双方の特徴をもつがん種のため、多診療科にわたるなど、医療者の診療や相談支援の経験が蓄積されにくく、専門家が少ないことが問題となっています。この時期は、“こども”から“おとな”への移行期であり、進学、就職、恋愛、結婚、出産、子育てなどライフイベントも多く、がんの罹患と人生の転機が重なることで心理社会的な影響を及ぼします。AYA 世代のがん診療には、小児科と成人診療科の連携が不可欠であり、多岐にわたるニーズに応じた心理社会的な支援も含めたサポート体制が必要となります。

一方で、AYA 世代の問題はこの世代にがん罹患した患者だけではありません。小児がんの治療成績が向上したことで、小児がん経験者で AYA 世代をむかえる人

たちも増えてきました。小児がん経験者が増える中で、過去に受けた治療の影響により、5 年後、10 年後に晩期合併症（成長発達、生殖・臓器機能障害、二次がん）が生じることが分かってきており、病気の種類や受けた治療によって将来起こりうる晩期合併症が予測できます。

小児・AYA 世代の患者は、治療後も長い人生があるため、晩期合併症を早期発見、早期治療することが欠かせません。小児科と成人診療科の移行や連携を円滑に行うことで診療の途絶を避け、継続した長期フォローアップが重要となります。

AYA 世代では、がん罹患することにより、抱いていた夢や希望を失ってしまうことがあります。医療者には、そのつらさや悲しみを受け止め、寄り添いながら、ライフイベントに伴う様々な問題に対して、長期にわたり継続して共に考え、患者の力を信じて支えていくことが望まれます。日本の AYA 世代のがん対策はようやくスタートラインに立ちました。より充実した支援体制に向けて、皆さんと一緒に取り組めたら嬉しく思います。

九州大学病院 小児看護専門看護師 山本千晴





## 第17回日本小児がん看護学会学術集会のご案内

第17回日本小児がん看護学会学術集会は、2019年11月14日(木)から16日(土)、「ライフスパンで支える子どもたちの夢・希望・平和」をテーマに、広島コンベンションセンターと広島県医師会館で開催致します。「小児がん患児の在宅診療」「先進医療後の課題 -均てん化と格差-」「エンドオブライフケア」などを企画中です。子ども達の夢、ご家族の願いをかなえるために、広島の地で多くの皆様の参加をお待ちしています。

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 看護開発科学講座  
教授 祖父江育子

## 平成30年度 日本小児がん看護学会 組織・体制

### 理事・監事

理事長：上別府圭子  
副理事長：塩飽仁 富岡晶子  
理事：石川福江 井上玲子 内田雅代 小川純子  
小原美江 小林京子 込山洋美 佐藤伊織  
竹之内直子 田村恵美 平田美佳  
監事：野中淳子 森美智子

### 組織体制

下線：委員長

将来計画委員会：塩飽仁 井上玲子 内田雅代  
上別府圭子 竹之内直子 田村恵美 富岡晶子  
教育委員会：竹之内直子 石川福江 小川純子  
荒井由美子 込山洋美 柴田映子  
編集委員会：小林京子 佐藤伊織 岩崎美和 東樹京子  
古谷佳由理 前田留美  
国際交流委員会：小川純子 平田美佳 河上智香 山下早苗  
ケア検討委員会：小原美江 内田雅代 竹之内直子 平田美佳  
白井史  
学術検討委員会：佐藤伊織 小原美江 上別府圭子  
副島堯史 河俣あゆみ  
広報委員会：塩飽仁 井上玲子 田村恵美 入江巨  
研究助成委員会：塩飽仁 田村恵美  
政策委員会：井上玲子 小林京子 田村恵美 前田留美  
柴田映子 川勝和子  
会計：富岡晶子 石川福江  
庶務：佐藤伊織  
事務局：副島堯史 佐藤伊織  
合同学会プログラム委員：上別府圭子 内田雅代 小川純子  
小原美江 富岡晶子

## ◆小児がん看護学会誌編集委員会より◆

### <第16回学術集会総会後に研究奨励賞授与式>

平成26年度に始まりました研究奨励賞の第5回の受賞者が決定しました。研究奨励賞は、過去3年分の学会誌に掲載された論文から、毎年、選考委員会による厳正な審査と理事会での承認を経て決定されます。研究奨励賞は学術集会総会後に授与式が行われますので、皆様ふるってご参加ください。総会11月15日(木)16:20~17:20 第3会場(みやこめっせ)で行われます。

### <研究奨励賞第4回受賞者のお知らせ>

平成29年度の受賞者は以下3名で、第15回学術集会総会後に上別府圭子選考委員長より授与者と授与理由が発表されました。おめでとうございます。

◎小澤典子殿、古谷佳由理殿、石川由美香殿  
(Vol.11, 7-16, 2016)「転院をして陽子線治療を受ける子どもの母親の体験」

## 会費納入のお願い

日本小児がん看護学会の年度は、1月~12月となっております。平成30年度の振込みがお済みでない方は、お早目をお願いいたします。

[会費振込み先]

郵便振替口座：00590-9-79689

名称：特定非営利活動法人

日本小児がん看護学会

## <学会事務局>

### ■学会事務局■

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻  
家族看護学分野内  
FAX: 03-5841-3694 E-mail: office@jspon.com

### ■会員管理事務局■

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1-4F  
(株)ガリレオ  
FAX: 03-5981-9852

## 日本小児がん看護学会ニュースレター担当

東海大学医学部看護学科 井上玲子  
埼玉県立小児医療センター 田村恵美

[連絡先] 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143  
東海大学医学部看護学科内  
E-mail: rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp